



「明治天皇と春日部」展 “まとめ” すごろく

春日部市郷土資料館制作

あがい
GOAL
茨城県へ
巡幸はつづく

栗橋

STOP

最後の難所。利根川をわたる。

●● → 船で鯉漁をみながら渡る！（あがい）
●●●● → 船酔い（ここにとまる）

明治天皇は、明治9年は船で、14年は軍橋を徒歩で利根川を渡られました。9年には利根川で鯉漁をご覧になっています。明治19年には利根川に架橋された鉄道の鉄橋をご覧に行幸になっています。

昼食代を
もう一度払う。
4マスもどる

明治9年6月3日、同14年7月31日、明治天皇は、粕壁の高砂屋旅館で御昼食をとられました。

粕壁屋食所（竹内家）
に到着。美味しい昼食を
とり、おなかいっぱい。
もう一度サイコロをふる



粕壁

豊野

御目留まりの松
道中、立派な松の木
に見とれてしまう。
1回やすみ

明治天皇は巡幸の折り、現在の藤塚橋のもとにあった松の木に御目をとめられたと伝えられています。「御目留まりの松」とよばれたこの木は現在は残っていません。

草加せんべい
宮内省が御買上げ！
2マスすすむ

実は皇室への献上で有名になったお菓子です。

草加

STOP

草加行在所（大川家）に到着。
県令白根多助に埼玉県の説明を
うける。●●● → 出た目の数すすむ
●●●● → 1回やすみ

明治9・14年、明治天皇は草加の大川家に宿泊されました。今も石碑がのこっています。

打合せが長びき、草加駅に遅れて到着。
2マスもどる



八條・潮止

ここからは御獵場です。許可なく鳥を捕まえてはなりません。
3マスもどる

明治16年、春日部市ほか、県東部地域は皇室の遊獵場（江戸川筋御獵場）に指定されました。

堤防の工事で
石碑が見当たらない。工事のおじさんに聞いてみようかな？
3マスもどる

わしのみやじんじゅ
鷲宮神社

明治天皇ゆかりの石碑は
徳富蘇峰の題字でカッコいい
3マスもどる

明治天皇は、明治29年、陸軍の演習をご覧になるため行幸になりました。境内には3基ものゆかりの石碑があります。

杉戸

杉戸小休所
（郡役所）に到着
トイレ休憩
1回やすみ

石碑の写真がない！もう一度杉戸へ。
1マスもどる

害鳥の駆除に規制があった御獵場の地区では、宮内省から地主に手当金が配布されました。川辺村のほか、市域の町村では手当金を教育費にあてることもありました。

川辺

御獵場の手当金を貯めて、川辺小学校を増築！
3マスすすむ

武里

東部地区の特産の米「白目米」を献上する。
2マスすすむ

大正元年の川越での陸軍特別大演習の際に、大場村（現春日部市）の原又右衛門は、新方領の特産物「白目米」を献上しています。

埼玉鴨場

宮内省から、お招きを受け
さで網をつかって鴨獵をする。
4マスすすむ

明治41年、大林村（現越谷市）に皇室の鴨場「埼玉鴨場」が設置されました。明治天皇が行幸になることはありませんでしたが、政治家や外賓などが訪れました。



蒲生

馬車をとめて、田植をみる。
●●● → 出た目の数すすむ
●●●● → 1回やすみ

明治9年、明治天皇は蒲生村（現越谷市）で馬車をしばらく止め、農夫の田植をご覧になりました。田植の光景は、大枝・大畑（春日部市）でもみられたようです。



越谷の図書館は資料がよく残っている！
一同感動する。
3マスすすむ

大沢

大沢小休所（福井家）に到着。
広くてゆったりしていて、
長居してしまう。
1回やすみ



名物「鴨すき」を食べようとしたらそば屋が定休日。
1回やすみ

ふいだし
START
東京（皇居）

このすごろくは、春日部市を含む埼玉県東部地区と近代の皇室の歴史を紹介する企画展示「明治天皇と春日部」の「まとめ」（ダイジェスト）すごろくです。明治天皇の行幸などのゆかりの歴史を紹介しつつ、●のマスでは展示担当者の経験談（苦労話？）もご披露（思い出も記録に遺します）。これで遊べば、誰でも展示のことがわかる！

- ：巡幸関連マス
- ：献上品関連マス
- ：御獵場関連マス
- ：調査余談マス